

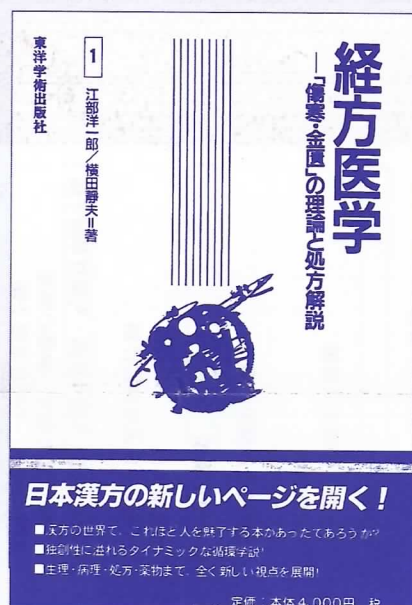
●日本漢方の歴史に新しいページを開く！

経方医学

『傷寒・金匱』の理論と処方解説

江部洋一郎・横田静夫著

- 漢方の世界で、これほど人を魅了する衝撃的な本があったであろうか？
- 独創性に溢れるダイナミックな循環学説！
- 『傷寒論』の生理から病理・処方・薬物まで全体系を解明する！



話題沸騰！
漢方家必読書

- 大胆な構想、緻密な論理性、驚くばかりの迫力、読み出したら止まらなくなる面白さ。頁を繰るごとに新しい発見がある。
- 「冷え」という現象に疑問を抱いたことから始まる謎解きの旅。20年を経てついに『傷寒論』の奥底に流れるダイナミックな循環構造を描き出す。全く新しい視点から、『傷寒論』の生理・病理・処方・薬物の体系を解明。
- 日本人が初めて作り上げたオリジナルな漢方医学体系。日本漢方・中医学の伝統を踏まえながら、より深化・発展させた画期的な理論体系である。もともと伝統医学は諸学説を統合したものであり、論理の矛盾性と複雑性は宿命的である。だが、江部経方理論の出現によって、それは快刀乱麻のように鮮やかに解きほぐされてゆく。本書は様々な議論を引き起こすだろうが、これによって漢方医学はかつてない活性化の時代を迎えるだろう。

◎ 本書は今回を第1集としておいおいに続編が発行されます。ご期待ください。

A5判 228頁 定価：本体 4,000円＋税（送料 300円）

ご注文は FAX専用フリーダイヤルで 今すぐにFAX 0120－727－060

〒272 千葉県市川市宮久保
3－1－5

東洋学術出版社

電話 (047) 371－8337
FAX 0120－727－060

一般的に「肝腎かなめ」という言葉があるくらい、中医学ではとりわけ五臓を中心とした治療が重視されています。ところが、「傷寒論」や「金匱要略」を讀むと、病が五臓に入ってしまうとなかなか治らないと書いて